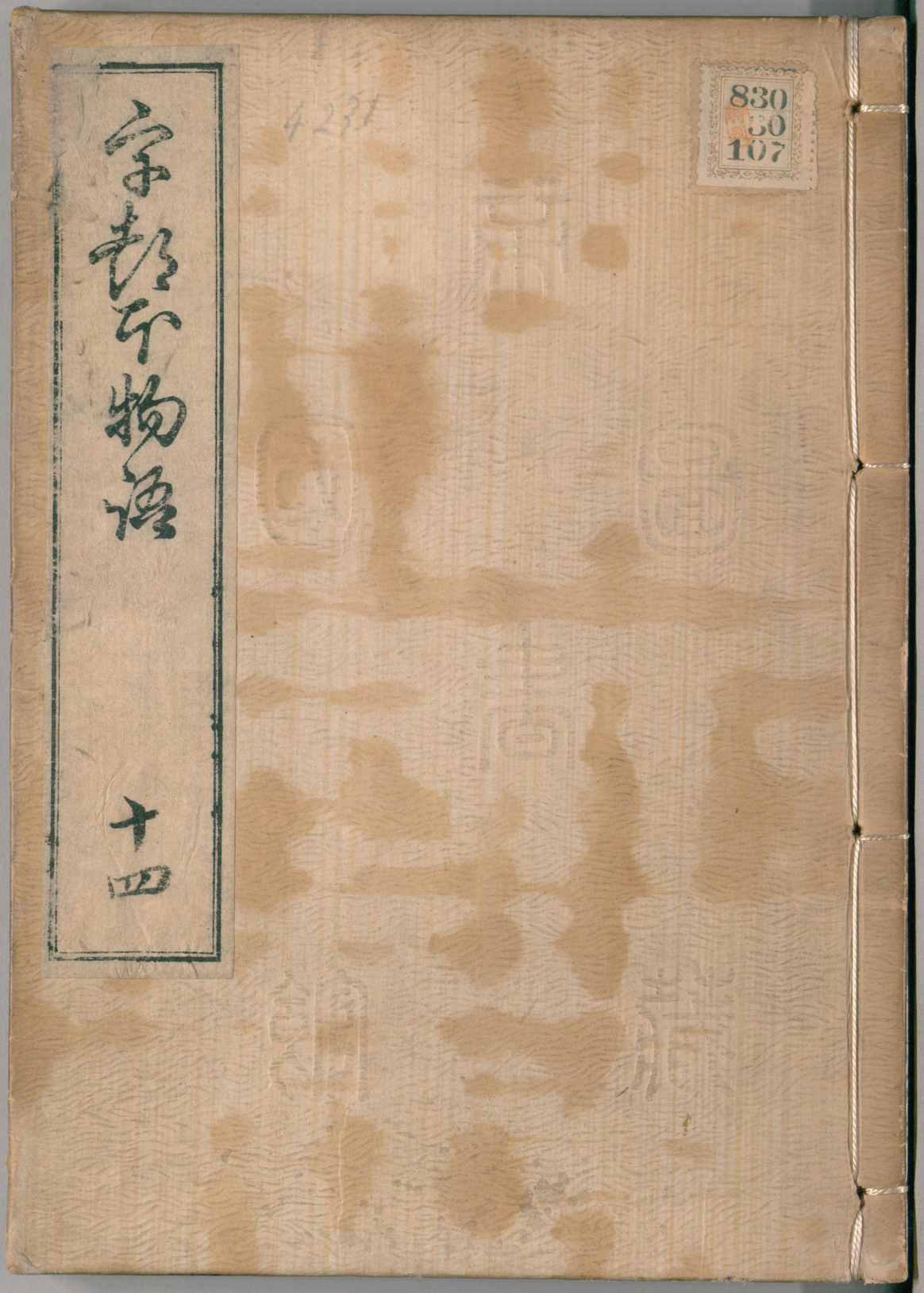
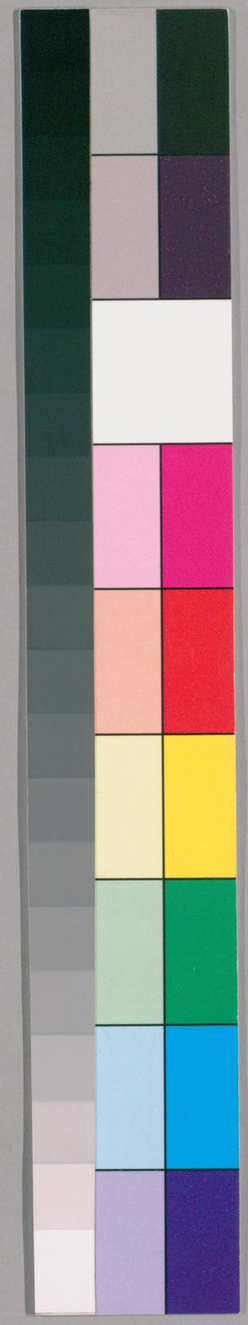




国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

宇治拾遺物語

初秋

二止

十四

今板本十五の巻之三

古本十一の巻

830
107

28. 8. 7

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

初編 下

巻十四

大正
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

と。ゆるやるて
秋はよやそのゝ秋のむしのねもかやうれ
雲やうのとゑ思つゞけとのこゝもまんそるうて
ゆれし秋よ雨をし
らをとものみ〳〵もをし。そうきかゝ出れ秋のむく
まつう給。たるこう給く。
秋出よ雨をしうきかゝ秋風よみうへくれふ
むをみ〳〵うむ。そたなうつう給て。深雪うみそうす
まつう給。そうこもものそ。たゝをみれよても。たゝやた
をイ
(ヨモ)
(ヨモ)
(ヨモ)

せいひん　琴の名
下ケヨせいひんそ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

とうかうんきうきう
白氏文集第二
白氏新乐府 海漫て云
道某不敢歸 富貴如甲冑
舟中老

れなをんとていやそれをうまなそん
のちくのなさありともなて
國母
えんこすることれありうとこ
とそくこうんよもそうこ
うよりを母これてりるむくみそれこ
くちりいとるうこりむうしほるこ
くいやをうこむうしほるこ
てくこのとそうこ
うやくこむもとくこんからの
ふもうこのくのあうこ
まうこれつこのをて

みそんをむかいのちこれ
つれもくいのちをむ
とあを事こものつい
うくりらいのやまて
うくいみれよりいわれ
うとさなんをれつこ
しそくをもむみる
うんいをこうんをこ
いるりさりむそんうい
かてよ母やくをもやこ
母をむれよいとのこと

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

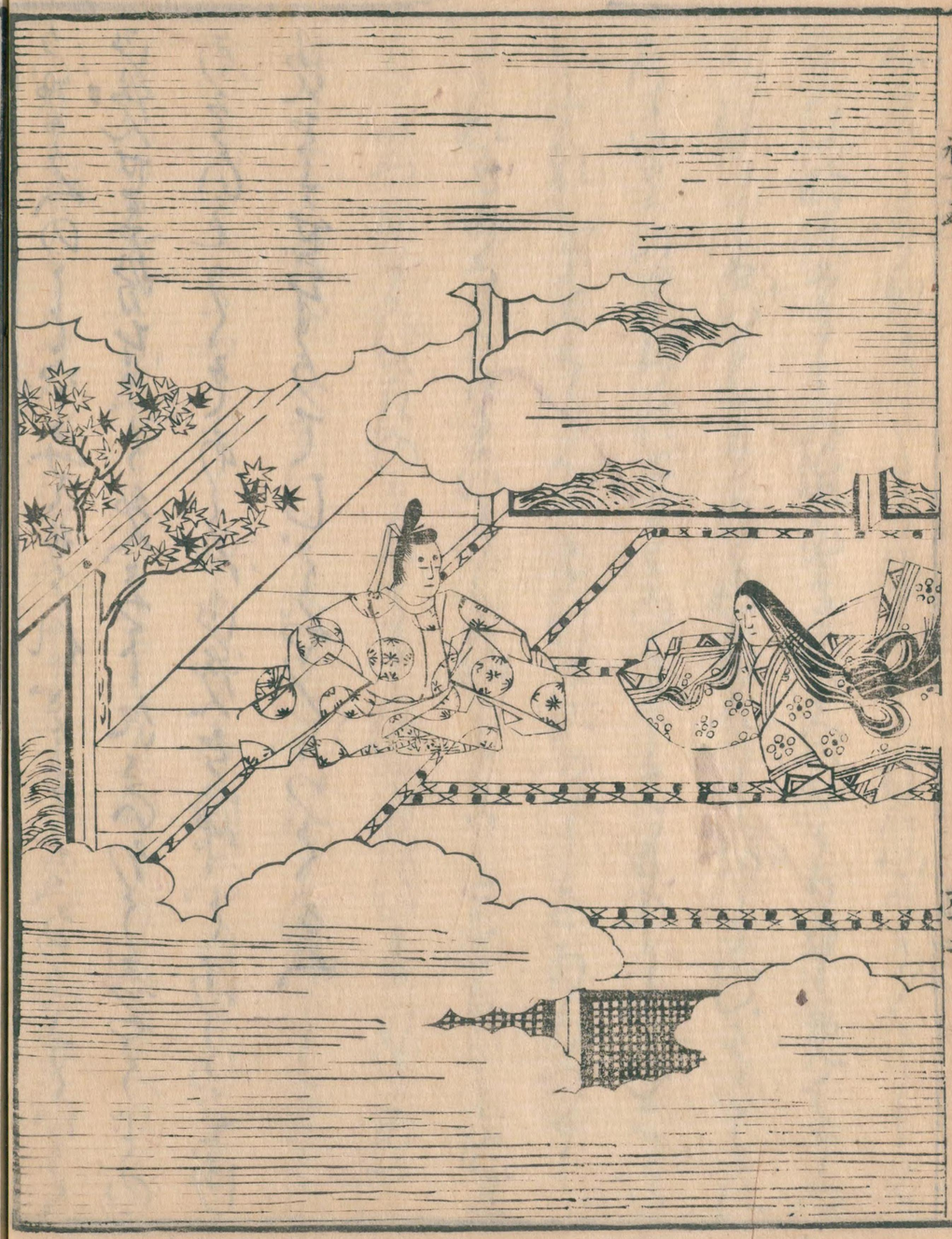
ガラス使用

口
後於賀 大中臣輔長ハカミキ
侍リケレコ内外戚ノオホイミヲ
輔親ハ公忠侍ルヲミテヨメル
藤原倫寧朝臣ハカムくノ
オヤオホトチノハラニコミノ
チハヤ四ヒヨヤレ
内戚ハ父ヲ外戚ハ母ヲ
桐壺

[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

の　ふくろうのいふやうに　ものいひ
うちゐたるに　ものもいはで　ゐたり
ければ　ものもいはで　ゐたり
思ひたるさま　いとをかしげなり
　ま
つまつ虫の　ねをなくにも　秋の夜ぞ
秋のこれりの風ぞ　ふきぬる
秋の夜ぞ　ものうくこころぼそき
おもひをそへる　もののくるるよ
もうのきいつれをともなく中将
給へれば　ものもいはで　ゐたり
もろこしの　ものがたりなどを
ものもいはで　ゐたり
おのこも　ものもいはで　ゐたり
ければ　人々

ものもいはれず　ものをのみ
もりくる　ものは　なみだ
ありて　こもりぬ
そのよ　ものもいはで　ゐたり
さたまりぬ　ものもいはで　ゐたり
えたまつり　ものもいはで　ゐたり
それより　中納言
そのよ　ものもいはで　ゐたり
もろこしの　ものがたりなどを
ものもいはで　ゐたり
ものもいはで　ゐたり
ものもいはで　ゐたり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

みくらもと此ことの後のうちつゞきの事も同一坂下ニ

せいひの[illegible] 琴の名どころせのしらべとうつるもあるべし

うとうてゐんさうのきこえやうもあてさまざまの中ねたきあそびをんのきこゆるもあるまつうんいさまざまの中ねたきあそびをんのきこゆるもあるうちもやうやうやめうんこゑのやうやうやめうんこゑのやうやうやめうんこゑの

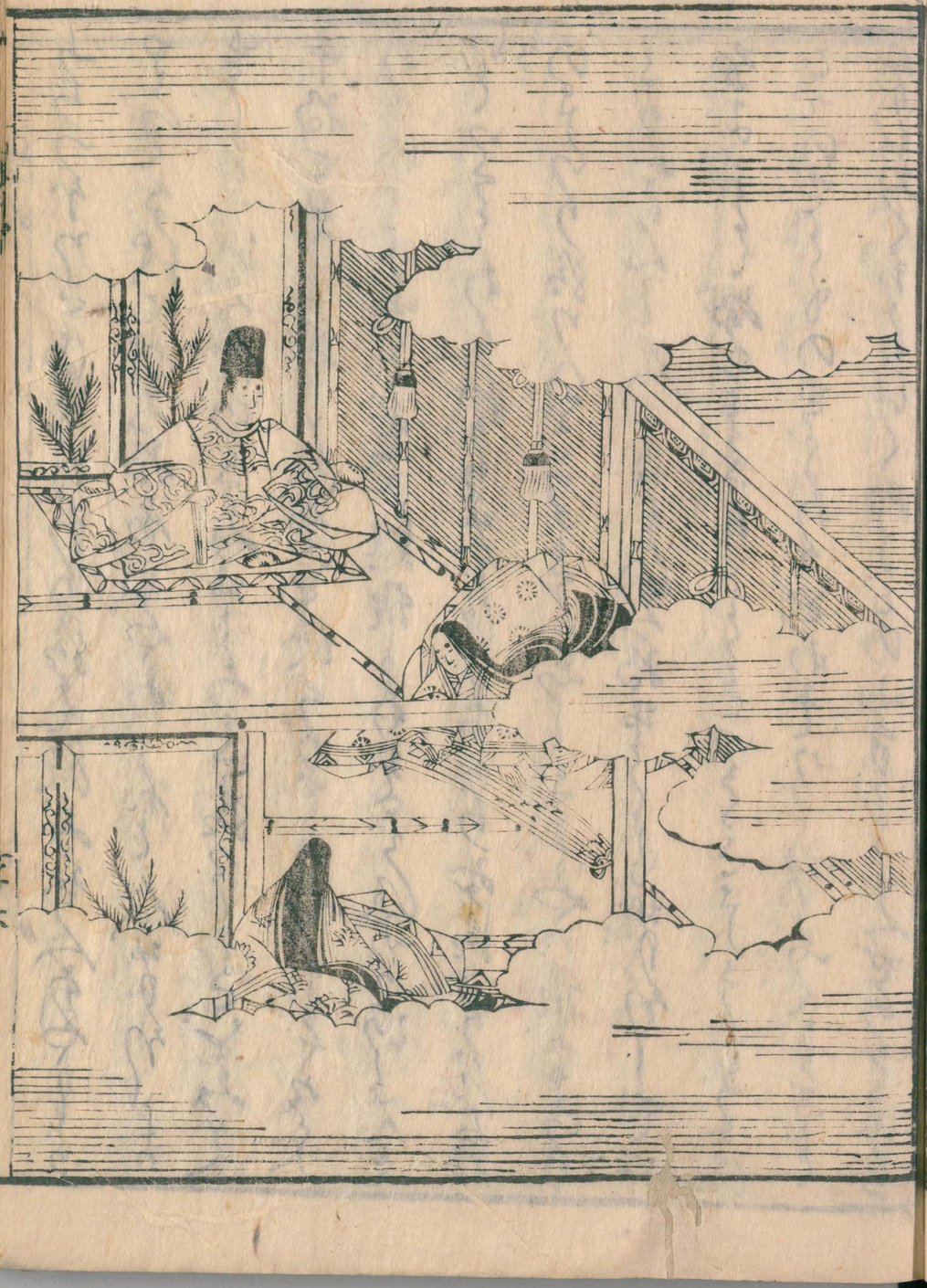
古
秋風ニカキナスヨトノ声ニヤ
分ナク人ノ遣シカルラム

るんの和ゝ〳〵 宴松原
拾芥抄云匡遠本
宣秋門北掃部寮
西庇衛南朱雀西
敏三代実録曰仁
和三年八月十七日
戊午今夜武徳殿
東縁松原西有美
婦人三人向東歩
行有男在松樹下
云〻江談抄著之
集ゝもとのをの
せう栄花物語
よりえんの和ゝまて
あり〳〵もてゆ
ゝしきをまゝ
めつらあ一えんの
まろ〳〵

カトハ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

日上文ニ出家セバヨレイ六ニ後ジ前ニメラレンカケルナリ此次ノ条ニサセテカハケルナリ

ちつかうてさほうのちりをはらひ
まうでゐるれこれもあるべきやうあ
ればこそとおもひなんとうちなき
ゐたまへるさま十四五十シイ人将のうみ
中将せうとまうけをたてまつりて
あるれいとみをうれしとおもひ
いてきこえかはしたまふ
のたまふ
ことのつゐでにおほしたちにし
もやうなんどくはしくおほせ
給へ
ありしやうにもあらずなりて
給へ
ことのついでにもあるべし
ことのてにものをきこえかはすを
ありしやうにもあらずなりゆく時よこの
おもひ

うへのやうにものなうらみ給へ
そ
きこえかはしたまふ
そうし
そのほどをいふ

ちくさまうでちりをはらひ
きりてあれこれ
ゐたまへるさま
ものをおもひ
ことものいとよ
しなうちとけ
ゆきまさりは
つゆもらさじ
とおもひ
そそのかしきこえて
ともをとり出させつつ
ひろきにしきをしき
上の御
ひとみをこうのとの

をすさうこあそ
してうえ給ふ海のこの
うう。れるすくくの引給ふ海
くりてくぬうもう。これめ
のみとせいつくまますを給めくうきう時。この國の
人おりて。我のつくえ紙ふの
こいのさかやうりかさぶりて
しおりもくれて。七人ふ后を
のふ人よそくせ給もうるうよ。そくれうくう
もうそのくうよて皇妃おりて
れるふおいをうみてて
國
母も
母
夫ふ
胡
胡
中ふ
胡
胡
胡

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

せいひ 正妃の字音
なり 正妃嫡妃なども
いむらひめ ともまさ
これにても みそ
むこひめ ともこ
さこも

ゐ・よこれそらくのおもれる
そこととひなるこのてゐん
あくものらふとわらふ
げきもろくもるらゐもよさる
ちの后ともてゐらくん
きんらひつれつもんと思
さまのこともろこそいみし
れぬんなるみ、このそら
きみらるひすさうひまく
ねまもともわれ
それりらいゆるいさせ絶えとらうれやまのろ

てそいたらくおそうれみ
しいいるのろふこのろくそくとひ
ゐそうれてそくつくもろ
そうりるんぬそこ
うつてそうめ、おそら
やるよとうこのれろくん
そそうれてもよあんれ
なろくそのろふれ九日
ぬうそ将とい月のに
とせろとせそこ青のろ
ゐろくそいそうれなり

袖中抄引之同
ワレモヤコモタリトイヘ武隈
ハナワニタテル松モ子モタリ
童之事 大系廿一
タケクマノ ナワニタテル松タニ
モワカエトヒトリ有トヤキク

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

凡賀 宝寿院
帝磐

涼

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

のどうそうしのおよのおうくろうそうそのまま
とゝいはゝふゆるゝくこゝすれ夜のまゝ雨のまゝ
左京の督(かみ)ゝゝのゝゆさゝみ方れをゝ
よゝまうろうをめてのおゝ角ゝこのさゝのみうろ
ふ女官のおゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

うへ、さうくもきこえ給はぬ
をれはてつゝ給そうくて雨をは
内侍のすみのいきみつゝひど
をそうよ侍つゝそ給へ
給つくそうみうちむそれる
のみいえおるきり給
れうこくおうきそ
のきとおうれ
もきみつゝ

日此二段大和物語ニヨリテカケリ又此段ヲトリテ源氏須磨ニカケルナリ

そゝ竹取物語のかぐやひめのまきをいつゝ

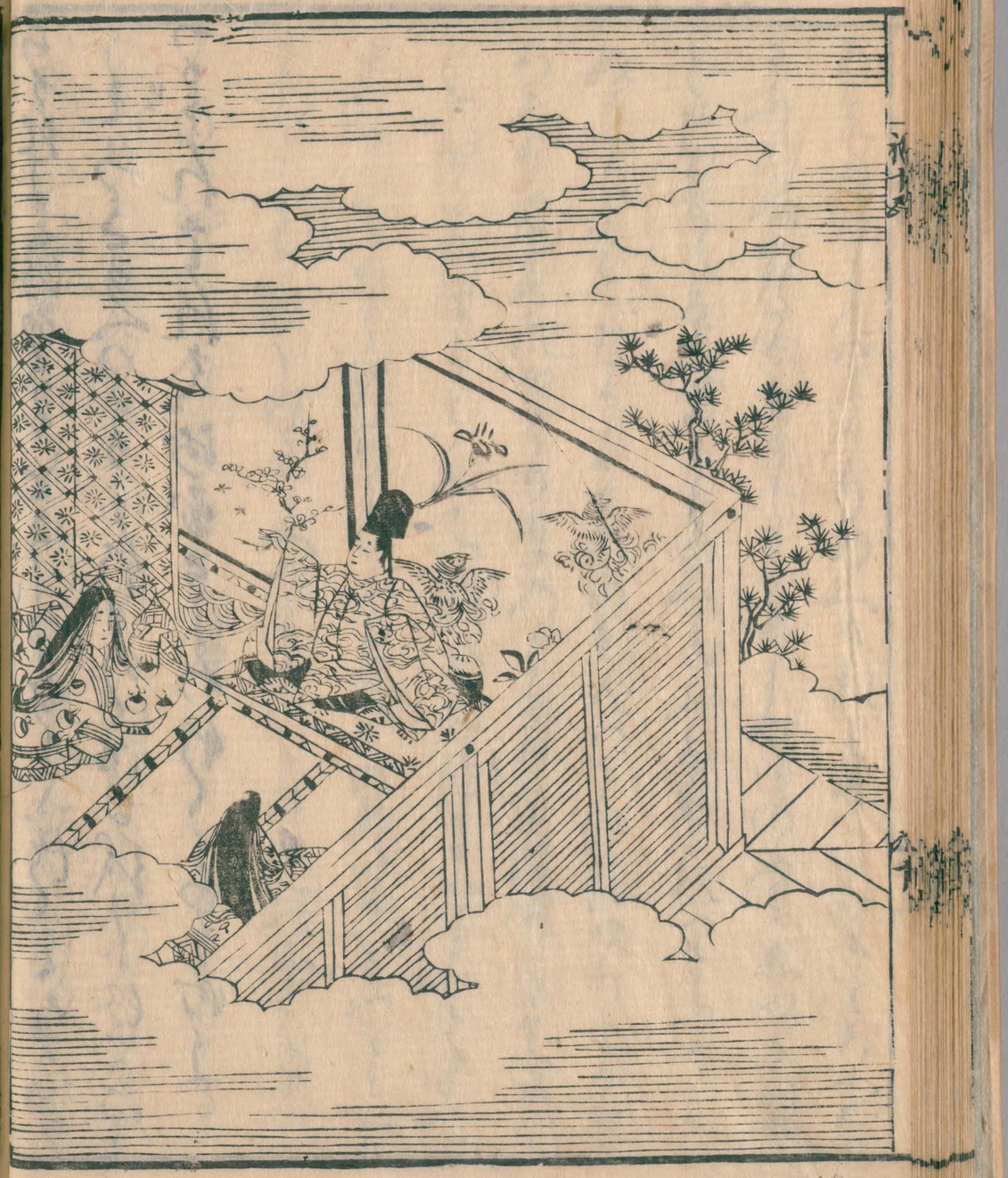
これこゝろへんこれ月
とをしこのまうこをそ
うんすみおとをおりこれ
やひめこそうこれよう
てこそうんう内侍のすけ
んうこよつくこれ内侍のすけ
よ。これものおうこもせ
とこうこりかれそうこ
方へまうよ三位
うにそのみこうおうこ
そみれうこて

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

神之学つみ一つ
後まで打ち一大和
との作まで童かうさ
みの神よつみ一る
うゆ又学の考へて
人をそへ一とい仔勢
物語ニ

朝服　衣服令
ニ祭服と朝服と
ありていふ衣服
袍のことまでのくい
うのみあるを訓へ一
ふへ一ふ一ふ一ふ
ニ一ふ一ふ

あやこはうんかようりあへ一それ
うつ一ねかてるとうへ一やうや
ふ一ふ一ふ一



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

らうをいりくゝしらうてらハ緑杉をろうそうとみどりこいろうそゑみ羅のすゝ

ゐのことゝもろうい出ゐてくゝいつこれとらうてらハ緑ろうとをろうそうとみてこゝろのそゝろのうつゝみなれとゝみれくゝものゝもをろうそうとゝ女御きさいの宮仁寿殿にまゐりたまひてのちなほ里なるつゐでにこゝにまうでたまへるなりけり。こゝもいつの四位のそれいとゝ人ゝそゝとて雨もとゞめねば

830
107

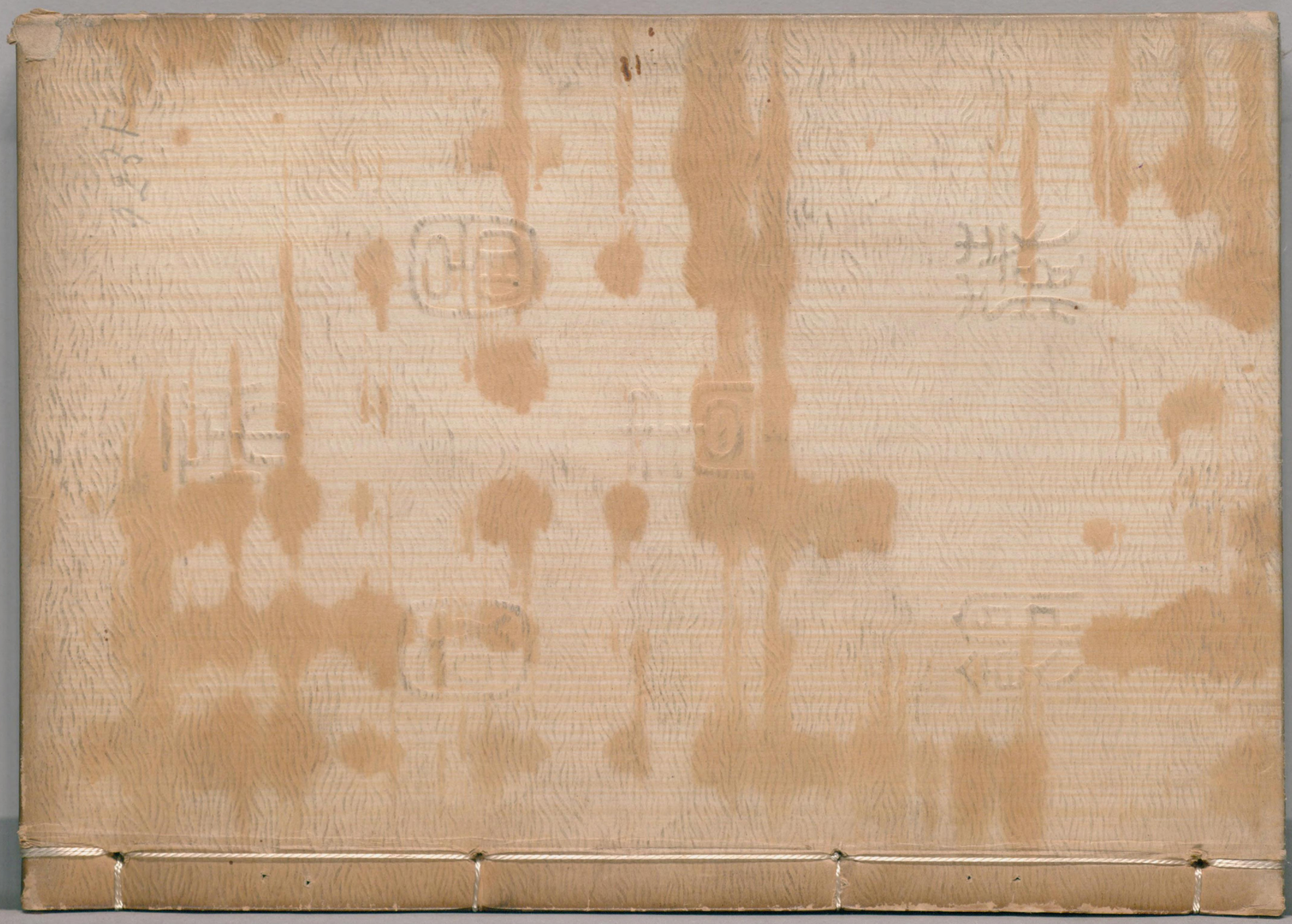
文久三年十一月廿八日以細井貞雄手校本対校畢

横山由清

830
30
107

国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107